

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（7月定例会）会議録
開催日時	平成20年7月17日（木曜）14時00分から16時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階第2会議室
出席者	委員：小川議長、松本副議長、岡村委員、瀧島委員、橋本委員、濱崎委員、本田委員、松嶋委員、宮崎委員（五十音順） （欠席）有澤委員、貝塚委員、高谷委員、山田委員 事務局：石崎社会教育係長、神田主査
議題	1 報告事項 2 平成20年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会の打合せ会議の報告 3 菅平少年自然の家について 4 その他
配布資料	1 平成20年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会の打合せ会議の資料 2 みんなの生涯学習 91
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>・議長：開会宣言 平成20年6月定例会議の会議録を確認、承認する。</p> <p>1 報告事項 (1) 6月会議で出された質問（平成20年度一般宿泊利用20%増を見込んだ根拠について）への回答 事務局：努力目標ということでの利用者増見込みであるとの所長の回答だった。 (2) 社会教育委員の研修会の講師について 事務局：6月会議で希望の出された「茨城大学生涯学習センター准教授の長谷川氏」に講師を依頼中だが、多忙のため連絡が取れない状況である。返事を待って引き続き交渉をしていく。 (3) 第50回全国社会教育研究大会（10月29日～31日於長野市）への参加について 事務局：10人分の参加負担金は予算措置されているが、交通費および宿泊費については自己負担となっている。参加人数がまとまれば市のバスの手配も可能である。正式な参加申し込みは8月だが、バス等の手配調整があるので、参加できる委員は申し出て欲しい。 議長：会議終了後参加可能委員には残っていただき、参加日程等の話し合いをしたいのでよろしく願います。</p>	

(4) 社会教育関係団体の申請受付状況について

事務局：6月19日、6月26日の2回説明会を実施し、3団体の参加があった。6月23日～7月11日までの申請受付期間中に、5団体から申請、相談があったが、そのうち2団体については、団体の組織体制の不備や申請された事業が対象事業として不適切である等の理由により申請されず、3団体の申請受付となった。3団体は前年度も申請した団体である。事務局で申請内容を精査したうえで、次回会議では審議をお願いする予定である。

(5) 松本委員より教育計画策定懇談会について報告

- ・ 第1回会議が6月25日に開かれた。委員は12名で、議長に桜美林大学教授の田中委員、副議長に武蔵野大学教授の北岡委員が選任された。
- ・ 教育に関する意識調査を、小2・小6・中2の児童生徒500人ずつとその保護者1500人に実施し、問題意識を把握して計画に反映させていく。8月中には、調査結果がまとまるので、これまでの計画事業の進捗状況も踏まえながら次期計画の見直し検討を行っていく。

(6) 松嶋委員より生涯学習推進計画策定懇談会について報告

- ・ 第1回会議が6月24日、第2回会議が7月10日に開かれた。委員は10名で、座長に武蔵野大学教授の貝塚委員、副座長に金沢学院大学客員教授の川口委員が選任された。
- ・ 計画への市民意見の反映方法が提案され、インターネットを使った市民意識調査、団体へのグループインタビュー、オープンスタイルでの意見収集などについて検討を行った。

2 平成20年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会の打合せ会議の報告

議長：第4ブロック研修会の打合せ会議が6月30日に東久留米市役所で開催され、副議長と参加した。研修内容について配布資料「平成20年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会開催要項」のとおり提案された。10月25日（土曜）実施ということで、後日また参加のとりまとめを行うが、参加予定をよろしく願います。

暫時休憩

3 菅平少年自然の家について

議長：今回は6月に引き続き、「存続」に関して、委員の自由な意見をお聞きしたい。

委員：存続ということなら、冬場の暖房の整備、女子トイレの整備、バリアフリーへの対応が必要だと思う。

事務局：現在の施設は正面玄関にスロープがない。車椅子への対応としては、エレベーターが考えられるが、既存施設では、設置場所が難しい。食堂へ外からつなげるエレベーターなら可能かと考えられる。また、施設全体階段の上り下りが多く、客室内

も段差が多く、廊下も狭い。バリアフリーを考えた人に優しい施設にするためには、車椅子が回転できる広さのスロープや車椅子対応トイレなど、かなりの設備改善が必要だと思われる。

委員：費用対効果を考えると廃止の方向だろう。しかし、学校教育活動、青少年団体活動、青少年教育事業の振興に寄与するという設置目的を考えたことを考えれば、市としての一定程度の負担はあるべきだろう。社会教育施設としての機能や価値を考えれば、施設の性格上黒字になるものではなく、市民の利用する施設として必要な負担はせざるを得ないだろう。その負担額も勘案しながら、市民的にはどの程度の赤字が許容範囲内なのかを見極めないと、簡単に廃止は打ち出せないのではないかと。存続のために少しでも経費負担軽減を考えるなら、冬場閉鎖して暖房費や人件費を軽減するなど、継続するための管理運営方法の工夫についても意見を出していくことが必要だろう。

委員：移動教室で利用している保護者にとっては、費用負担（小学校1人4,845円）が少なく、自然環境も良いということで魅力的な施設だと思う。

委員：多くの一般市民には、施設の認知度も低く廃止か存続かといっても良く分からないだろう。存続させるなら、今までの管理運営方法の改善もしながら、一般客の利用率を上げる工夫（ホームページでのPR等）が必要だろう。

委員：自然環境がよく市所有施設ということで子どもたちも気兼ねなく利用できる、毎年冬場のスキーを楽しみに利用している市民がいるなど、長年市民の施設として親しみ愛着を持たれている施設でもあり、廃止する場合にはそれなりの説明が必要になると思う。存続という前提で考えると、施設使用料を上げる、補修工事をしてサービスの向上を図り稼働率を上げる、冬場閉鎖をして人件費を削減する、冬場開くなら中学生の移動教室を積極的に受け入れるなど、稼働率を上げ、支出を抑える工夫をしていくことが必要だろう。

事務局：施設使用料の積算根拠は、施設の原価計算に基づくので、老朽化した施設での使用料の値上げは難しい。

委員：施設使用料への補助率を変更することで対応したらよいだろう。

委員：中学校の生徒数を受け入れるには、部屋の増改築が必要であり、それでどれくらい稼働率が上がるか分からない。冬場の閉鎖は、建物の維持管理に支障がないなら賛成である。料理もおいしく子どもも楽しめ、子どもや保護者には評判の良い施設なので、あまり手をかけない方向で存続できるならそのほうが良いと思う。使用料の値上げに関しては、われわれの立場ではいけないのではないかと。

事務局：小平の施設は、現在ボイラーが壊れているということで冬期閉鎖をしている。使用料に関しては、適正な料金体系の再検討をして欲しいということならいえるだろう。

委員：中学生のクラブ活動の合宿に利用できないのか。

事務局：上田市のスポーツ施設の予約は市外の場合1ヶ月前からとなっているため、運動施設の確保が確実ではなく、難しいようだ。宿泊予約と一緒にスポーツ施設の確保が出来れば、スポーツ活動団体の利用もあがるのではないだろうか。

委員：上田市のスポーツ団体と交流するなど上田市と文化・スポーツなどで多角的な交流をはかり、菅平の施設を利用することでの付加価値的な魅力をつけていく方策も必要だろう。

委員：存続するということなら、当面の問題解決をするための改修の可能性を財政的

なことを気にしながら検討するより、長期的展望を持って子どもたちのために思い切って建て替えをしたらどうか。中学校が1校泊まれる規模にし、冬場の暖房も整備する。中学の部活動（文化・スポーツ）の合宿所としても活用できるようにし、子どもの利用率を確保する。背後の急斜面についてもロッククライミングに活用するなど、建て替えによって工夫をし、新たな魅力ある施設にしていく。障害者が利用できる施設が少ないことを考えれば、建て替えで障害者向けの施設整備を整えられれば、合わせて高齢者の利用もしやすくなるだろう。子どもたちだけでなく一般市民や団体の研修や講習会での利用も促進することが出来るだろう。

委員：職員の配置もあるだろうが、市民がいつでも泊まれるように、休館日を少なくする必要があるだろう。

事務局：正規職員だけの配置では難しい点もあるが、変則交代勤務をするなどして、職員の休務日を確保しながら休館日を少なくし、市民が利用しやすい体制を整えていく必要はあるだろう。

委員：上田市との交流でいえば、地元の職員の採用なども考えられていいと思う。

委員：階段に取り付けられる電動イスなども考えられないだろうか。

委員：冷暖房も各部屋管理にして、必要な部屋のみ稼働できるようにし、効率的な利用を考えられたら良い。

委員：国立公園内で難しいかもしれないが、温泉などが引ければ魅力的だと思う。

委員：ソーラーシステムの設置なども考えられないか。

委員：思い切ってお金をかけて、目玉になる施設にしていくことも大切だろう。思い切った決断も必要だろう。

議長：以上で本日の社会教育委員の会議（7月定例会）は終了する。

次回会議：平成20年8月21日（木曜）午後2時～
保谷庁舎3階 第2会議室